



儀 胃 禾

題字は社宝伝崇徳天皇ご宸筆
勅額の文字を模したものです。



今年の例大祭神輿渡御は天候の関係等により遅延し、薄昏の中での川入りとなりました。当社の伝統である御祭神日の神天照大御神様の「日の出と共に宮出し、日の入りと共に宮入り」の原則は適いませんでしたが、多くの人々が見守る中、例年通り盛大に且つ厳肅に斎行されました。これ偏に三浦仁大祭委員長様を始め年番神拝地区の方々、鬼頭他関係各位、氏子の皆様方の当社への熱い思いの発露とご協力のお蔭と、心より御礼申し上げます。

さて既にご承知置きの通り、当社は平成二十七年五月に御創祀一八八〇年記念事業奉賛会を立ち上げました。先ず第一期工事として、本年四月より廻廊・祓所の新設、並びに待合殿の改修を行ってまいりましたが、白木秀典奉賛会長様を始め奉賛会の皆様方、そして株式会社 川下建設様のご尽力により十月の例大祭前に完成の運びと相成りました。この度の改修によって増設された待合殿から御社殿へと続く新設の廻廊と祓所を覆う銅板葺きの屋根は燦然と輝き、お屋根を支えるために一定間隔で建てられた白木の柱の清らかな事。その落ち着きと佇まいは、氏神様ならではの尊厳と慎ましさを更に増しました。例大祭の斎行に際しまして、現時点における境内の改修状況を皆様にご披露し、感動を共有できました事は何よりの喜びです。

引続き第二期工事が恙なく進み、御創祀一八八〇年を迎える翌平成二十九年の佳き年には社務所の装いも新たに、見事な記念事業が完遂されます事を切に祈念するものでございます。氏子崇敬者の皆様には何かと厳しい時勢の中でご理解とご協力を賜り誠にありがたく、ここに厚く御礼申し上げますとともに、今後も尚一層のご支援を賜りますれば幸甚に存じます。私達のご先祖様は五穀豊穰を祈り感謝する、「春・秋の祭り」を悠久の歴史の中で大切に護ってまいりました。自然の命を「食」として頂き、自らの命を保っていることを神様の恵みと感謝し、年月を紡いできたのです。そしてまた人と人との繋がり、助け合いを大切にして大きな力を生み出してきました。当社の例大祭も例外ではなく、その大いなる結晶・成果と固く信じられます。

ならば現代を生きる私たちもまた、その尊い思いを未来に繋いでいかなければなりません。今こそ繋ぐ覚悟と護る努力が必要と言えましょう。大神様の御加護のもと、氏子崇敬者各位のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げます。

宮司 堀川 修のぶ 巧よし

例大祭御礼

年番(神拝) 大祭委員長 三浦 仁

十月中旬キンモクセイの香る頃、伊曾乃神社例大祭が大神様の御加護と、氏子崇敬者の皆様方の大変なご協力とご支援を賜り無事斎行できましたことに先ず以て深く感謝し厚く御礼申し上げます。

十五日、好天に恵まれ出御祭で御神体を御神輿にお遷し申し上げ午前六時にお宮出し、順調に市内二十箇所御神楽所で神幸祭を執り行い、夕刻には御旅所に着御致しました。

翌十六日は小雨交じりの天候でしたが旧西條藩主松平家のご子孫がご参列され、厳肅に御旅所祭を斎行し、午前六時過ぎより、先導するだんじりの統一運行とともに御神輿も御立し、伊予西条駅前・御殿前等市内十六箇所の御神楽所で神幸祭を執り行い、川入り予定時間の三十分前には御旅所に着御されました。残念な事に終日、断続的な雨の影響でだんじりに被せるビニールシートの脱着等で、統一運行に遅れが生じ五十分程度の遅れで川入りが行われました。「二度あることは三度ある」の格言通りにはならなかったのですが、運行する全てのだんじり・みこしが「何とかか日の入りに御神輿を還御しよう」と云う厚い思いが最小の



ます。

私事乍、大祭のご奉仕にご尽力された役員の方々や関わった役務の皆様方、そして御神幸行列や神幸祭でご参拝・ご参列された方々に対し心から深く感謝申し上げます。

終わりに成りましたが、本年の例大祭でお世話になりました西条警察署・北中及び南中の生徒・本肩かき夫・鬼頭・氏子崇敬者の皆様、衷心より御礼を申し上げ大祭委員長としての挨拶に変えさせていただきます。

遅れに踏
みとどま
せた結果
だと確信
しており
ます。来
年こそは、
好天気に
恵まれて
三度目の
正直で日
入りの還
御を達成
して戴き
たいと願
っております。

ありがとうございました 年番例大祭準備

年番である神拝地区の皆様により十月十四日、参道周辺や御旅所の安全対策をはじめ、例大祭準備を戴き、復旧作業は十七日から凡そ一週間に亘り、大楠の竹垣修繕を戴きました。

例大祭直後の清掃奉仕

十月十五日の宮出し直後より、屋台昇夫有志の方々を中心に境内に捨てられたゴミの回収や分別などの清掃活動を自発的に行って戴き、お陰さまで例年になく活動も早く終わりました。

屋台関係者の皆さんに、ごみ対策にご理解を戴いたものと感謝しております。これからも宜しく願います。



表彰・感謝状・受賞者御芳名

感謝状

狂言舞台仮設

株式会社遠藤組

代表取締役 遠藤勇次 様

神宮撤下御装束

御神宝奉案台奉製

上田 実 様

御奉仕御礼

御旅所除草奉仕

御旅所管理委員会の皆様

神門前大楠注連縄奉製

神戸長寿会の皆様

例大祭前の境内清掃奉仕

神戸長寿会の皆様

神拝老人会の皆様

大町福寿会女性部の皆様

下福古墳周辺清掃奉仕

西條史談会有志の皆様

境内清掃奉仕

環境奉仕団体かじかの皆様

愛媛県厚生年金受給者協会

西条支部の皆様

奉納御礼

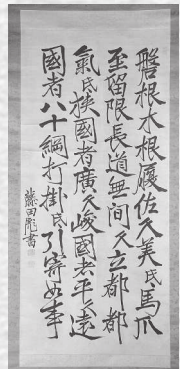
社会医療法人 社団更生会

村上記念病院

理事長 村上凡平 様

拜殿前提灯二張

大洲出身 由井幸雄 様
藤田東湖書 掛軸一幅



幕末に水戸藩士で水戸学の学者あつた藤田東湖の書であり、その内容は天照大御神を祀る伊勢の皇太神宮の祈年祭に関するものであります。

伊予銀行元専務でいらつしやる由井様の生家は、大洲市で江戸末期より続く油屋で、掛軸は昭和九年頃に宿泊された帝国陸軍田代皖一郎中将（昭和十年に善通寺の第十一師団長に就任）より、当時の油屋主人に贈られたもので、天照大御神を祀る当社に伊予銀行西条支店西原隆二支店長様を通じ奉納を賜りました。貴重な御軸であり、感謝申し上げます。

神戸木挽原 伊藤自動車株式会社
代表取締役 伊藤裕樹 様

軽貨物自動車 一両

当社の境内整備や夏越祭・例大祭をはじめ、各種祭典等の準備で使用する軽貨物自動車が経年使用により老朽化し、車両の更新を検討していたところ、このたび伊藤様よりダンプ式軽貨物自動車（軽トラック）の奉納を賜りました。



境内整備や祭典準備で必須車両であり、大変有難く感謝申し上げます。

社頭 点描

夏越祭

旧暦六月十五日にあたる七月十八

日夕刻、加茂川原にて執り行いました。当日は、海の日との祝日であり、ご家族での参拝が多数ありました。



瑞枝神社例祭

八月十七日、ご子孫が参列され厳かに執り行われました。



秋季氏子総代会

例大祭を中

心とした審議を、百名を超える氏子総代さまご出席のもと行いました。



物故宮司・神職慰霊祭

例年秋分の日に斎行し、本年は九月二十二日に執り行い、ご子孫もご参列されました。



事始式

例大祭の始まりを告げる事始式を、十月八日に執り行い、屋台・みこしの運行責任者約二百五十名が大祭当日の安全を祈願致しました。尚、当日の集合写真はホームページよりダウンロードできます。





砺波市曳山会館 曳山

三、愛媛県外に出ているダンジリを訪ねる ②

いよ西条だんじり祭り編著者 村上 俊行

富山県砺波市は子供歌舞伎を演じる三基の曳山が出る芸ダンジリ祭りである。普段は子供歌舞伎曳山会館に展示されている。

石川県小松市小松お旅祭りは八基の曳山が出る芸ダンジリ祭りであるが、今では各曳山で小学三年生から六年生の女子が歌舞伎を演じている。



小松お旅祭りに出る曳山

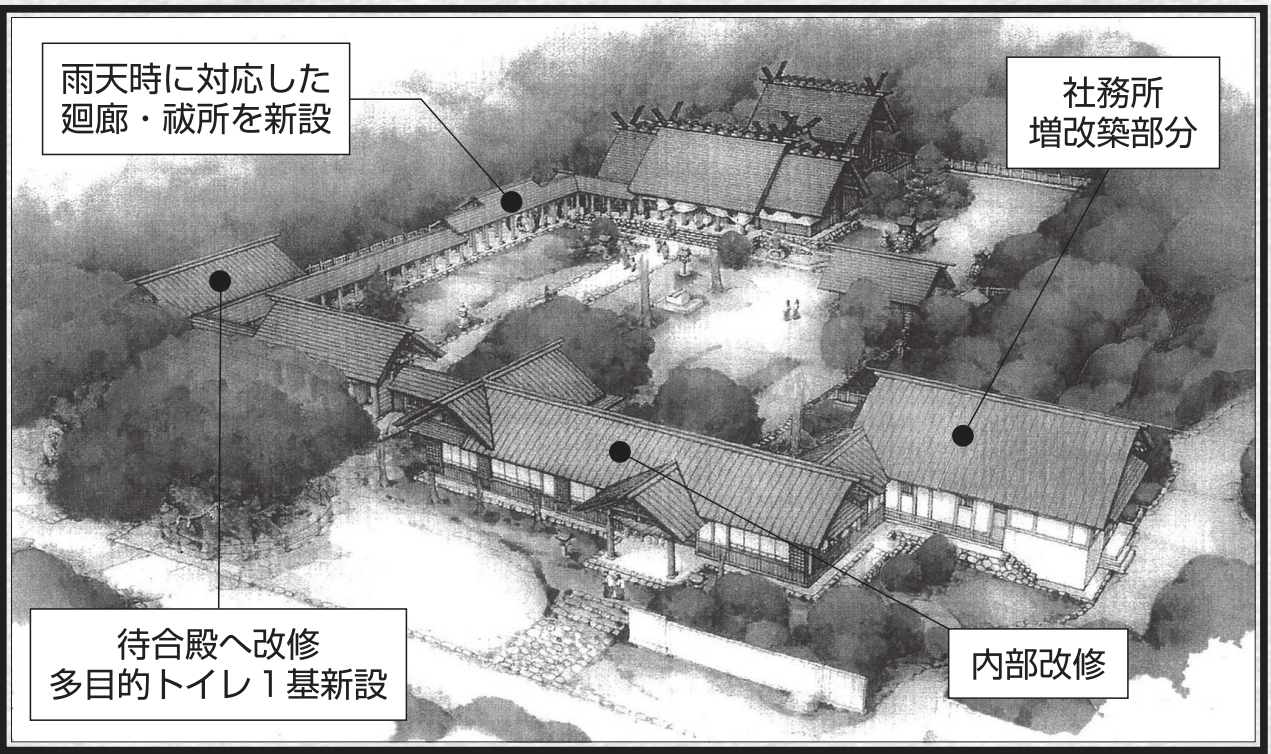


京都府丹後地方には芸ダンジリが出る祭りが多くようである。与謝野郡与謝野町加悦谷に出る芸屋台は大輪の上の舞台が動くようになっており、方向を変えることが出来る。



加悦谷 芸屋台

御創祀一八八〇年(平成二十九年)記念事業奉賛会ご寄付のお願い



待合殿・廻廊・社務所増改築完成予想図

事業概要

- 一、待合殿・廻廊建設
授与所を待合殿に改修し、多目的トイレを一基増設します。
また、廻廊を新設し、祓所を併設致します。
- 二、社務所増改築
社務所内部の改修と、部分的な増改築を致します。
- 三、その他関連工事

概算費用

- 一、外部(土木・外構)関係工事 一〇〇〇万円
- 二、待合殿・廻廊建設工事 三〇〇〇万円
- 三、社務所増改築工事 六〇〇〇万円
- 四、建設工事関係諸経費 一〇〇〇万円
- 五、関連費用 四〇〇〇万円
- 合計 一億五〇〇〇万円

氏子総代様・お世話人様を中心に、奉賛活動をお願い致しております。

この奉賛事業にご理解とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

伊曾乃神社御創祀一八八〇年記念事業奉賛会

事務局 (伊曾乃会館内)

(九時～十五時 平日休みあり)

電話 〇八九七(四七)七六九〇

社務所

電話 〇八九七(五五)二二四二

会長

白木 秀典

副会長 (総務担当)

明比 幹夫

副会長 (財務担当)

小野 昭雄

副会長 (建設担当)

三浦 仁

副会長 (財務担当)

戸田孝一郎

副会長 (建設担当)

矢野 幸雄

理事 明比 昭治

安藤 勝俊

尾野 和夫

伊藤 勇

木藤 清

伊藤 道雄

松本 一夫

黒川 清美

安永 省一

大澤 勝幸

西山 多一

高瀬 康雄

渡邊 博毅

日野 信二

加藤 武司

矢野 胤勝

近藤 清政

一色 鉄馬

宮司

堀川 修巧



迴廊全景

上棟祭を斎行し、並行して待合殿改修工事
 廻廊新設にあたって去る七月二十一日に

待合殿・廻廊完成

奉賛会現状報告



待合殿

・多目的トイレの新設と既存トイレの改修
 工事を行い、去る十月六日に完成の神事である竣功祭を執り行いました。今後、待合殿内の備品の整備を進める予定です。



既存トイレ改修



多目的トイレ



祓所

境内整備の状況

毎月第三日曜日を定期日としてご奉仕を戴いており、奉賛会に関連する内容に加え、例大祭に合せた参道周辺の除草作業を中心に活動を賜りました。

■奉仕作業者ご芳名（順不同）

- 尾野 和夫 様
- 伊藤 勇 様
- 浅田 秀隆 様
- 浅田 尚夫 様
- 井上 博司 様
- 高木 豊 様
- 高橋 稔 様
- ほか有志の皆様



敬神婦人会通信

伊曾乃神社敬神婦人会が設立して二年という月日がたちました。氏子崇敬者の皆様より、伊曾乃神社敬神婦人会に対して、常々ご支援・ご協力をいただいていることを、心より感謝申し上げます。



他の神社の敬神婦人会の会員さんと交流を深めるべく、九月に兵庫県で開催された「全国敬神婦人大会」に役員・会員で参加をいたしました。

御神楽の披露や記念講演、マリンバの生演奏など、とても実りのある大会でした。愛媛県内の敬神婦人会の会員の方々と移動中のバスの中での過ごし、各単位会ごとの活動なども耳にする事ができました。次の日は、大阪天満宮の正式参拝、インスタントラーメン博物館でのラーメン作りなど、楽しい思い出ができ、また勉強になった、充実した二日間を過ごすことができました。

そして昨年同様、伊曾乃神社駐車場で開催された「伊勢音頭フェスティバル」では、敬神婦人会として、お店を出展させていただきました。

小雨模様の中の少し肌寒かった当日、手作りの温かい甘酒はとても好評でした。また、朝早くから役員・会員で作った、桜餅・おはぎ・いなり寿



八幡神社敬神婦人会会長や役員の方がお出迎えをしてくれて、正式参拝の後に、社務所でお茶とお菓子の接待をしてくれました。神社全体で歓迎してくれていることを感じつつ、ぜひ次は伊曾乃神社へ来て下さいと約束をして八幡神社を後にしました。

伊曾乃神社敬神婦人会の会員同士の交流の場面も多くなりつつありますが、同じ志をもつ、敬神婦人会の皆様とも交流をもち、また自分たちの活動にも役立てたいと思っている次第です。

敬神婦人会としてこれからも今以上に、伊曾乃神社の大神様の御加護を受けながら、氏神様へのご奉仕を通して、会員同士の交流や活動の活発化など、よりよい魅力的な敬神婦人会にしていきたいと考えております。

まだまだ不備な点などたくさんあると思いますが、皆様方のご理解・ご協力をいただきたいと思います。また皆様からご意見をいただけたら、嬉しく思っております。

これからも宜しくお願



一月

祭典



〔二十五日 午後一時より〕
初天神祭・筆供養祭



〔十五日 午前九時より〕
左義長(とうど)神事



〔三日 午前十時より〕
荒川獅子舞奉納



〔二日 午前八時すぎ〕
西条市無形文化財指定
田宮流居合術奉納

のど

二月



〔十一日 午前十時より〕
神武創業を偲ぶ 紀元祭

〔十七日 午前十時より〕
五穀豊穰を祈る
祈年祭
秋の稔を祈願するとともに、この年の豊漁や商工業の発展を願う大祭です。雅楽の奉納もごさいます。皆さまお誘い合わせの上、ご参拝下さいますようご案内申し上げます。

あんな

建国記念の日である祝日に、恒例の祭典を執り行います。当日は、皇居および榎原神宮の遙拝より神事がはじまります。祭典後は、建国記念の日奉祝大会の参加も予定しております。
小豆粥と紅白饅頭の授与がございます。多数のご参拝をお待ち申し上げます。



四月

〔二日 午前九時より〕
開運春祭

茶筌供養、裏千家淡交会西条支部による月次釜(お茶席)、子供だんじり奉納、子供相撲大会を予定しております。ご参拝後には、福木・紅白餅の授与がございます。氏子崇敬者の皆さん、多数のお参りをお待ちしております。

な

五月

〔五日 午前九時より〕
菖蒲祭

子供たちの健やかな成長を祈り、敬神婦人会の皆様により御神前に菖蒲と蓬を奉納致します。拝殿前には終日、葉菖蒲と蓬を準備いたしております。ご参拝の後、お持ち帰りになられて除災のなわしである「菖蒲湯」として、ご家庭の浴槽に浮かべお入りください。



新年の準備はお済みですか



本年も残すところ僅かとなりました。
何かと慌ただしい年末となり新年の準備で大忙しですが、神棚のおふだも新しくお祀りし、清々しく正月を迎えましょう。

神宮大麻と神社大麻は、各町内の氏子総代様のご協力により例年ご希望されます各ご家庭へ頒布載いております。

● 神宮大麻



● 神社大麻



ご存知ですか 氏子区域の鎮守さま

兼務社紹介 その二

止呂神社 (とろじんじや)

鎮座地 西条市藤之石庚九七番地

御祭神 応神天皇 高麗神

国道一九四号線から笹ヶ峰登山口との交差点、加茂川に架かる止呂橋の麓に鎮座されています。この付近は、止呂溪としても有名で加茂川の溪谷美を楽しむことができます。

止呂神社は加茂地区下津池の氏神様で、創立年代は不詳です。

八戸あまりの氏子の皆さんによって毎月の清掃活動や社殿の営繕活動などの護持運営が積極的になされており、十月の例祭日には幟や幕を掲げ、集落全員が参列するほか、県外に移住された氏子のご家族も帰省され盛大に斎行されております。



境内社の妻白神社は古くから、失せ物の神として霊験があらたか、「大切なものを失くしてしまったときは妻白さんにお願ひに行け、きつと見つけて下さる。」と言われていたほどで、今もなお県内外から多くの参拝者が訪れます。山村の小さな氏子集落ではありますが、神社は憩いの場として和気藹々と活動されています。



十二月	一日	朔日祭	午前十時
	十三日	すす払い神事	午前九時
	十五日	月次祭	午前十時
		古神札焼納祭	午前十一時
	二十三日	天長祭	午前十時
	三十一日	大祓式	午後三時
		除夜祭	午後五時
平成二十九年	一月	歳旦祭	午前六時
	三日	元始祭	午前八時
	七日	昭和天皇祭遙拜式	午後三時
	十五日	左義長(とんど)神事	午前九時
		月次祭	午前十時
		初天神祭・筆供養祭	午後一時
二月	二十五日	初天神祭	午後九時
	一日	朔日祭	午前九時
	十一日	紀元祭	午前十時
	十五日	月次祭	午前十時
	十七日	祈年祭	午前十時
三月	一日	朔日祭	午前十時
	十五日	月次祭	午前十時
	二十一日	春季皇霊祭遙拜式	午前十時
四月	一日	朔日祭	午前九時
	十五日	開運春祭	午前九時
(第一日曜日)	二日	開運春祭	午前九時
	十五日	月次祭並神符神札入魂祭	午前九時
	二十九日	昭和祭並崇敬者大祭	午前九時
五月	一日	朔日祭	午前九時
	五日	菖蒲祭	午前九時
	十五日	月次祭	午前九時

【平成29年 年賀表 (数え年)】

還 暦	61歳	昭和32年生まれ	とり
古 希	70歳	昭和23年生まれ	ねずみ
喜 寿	77歳	昭和16年生まれ	へび
傘 寿	80歳	昭和13年生まれ	とら
米 寿	88歳	昭和 5 年生まれ	うま
卒 寿	90歳	昭和 3 年生まれ	たつ
白 寿	99歳	大正 8 年生まれ	ひつじ
上 寿	100歳	大正 7 年生まれ	うま

【平成29年の厄年 (数え年)】

男 性	厄	25歳	平成 5 年生まれ	とり
	前 厄	41歳	昭和52年生まれ	へび
	本 厄	42歳	昭和51年生まれ	たつ
	後 厄	43歳	昭和50年生まれ	うさぎ
女 性	厄	19歳	平成11年生まれ	うさぎ
	前 厄	32歳	昭和61年生まれ	とら
	本 厄	33歳	昭和60年生まれ	うし
	後 厄	34歳	昭和59年生まれ	ねずみ
	厄	37歳	昭和56年生まれ	とり

年間を通じて受け付けております。

厄除年賀祈禱

発行

伊曾乃神社社務所
〒793-0054 西条市中野甲一六四九
電 話 ○八九七・五五・二一四二
F A X ○八九七・五六・四七六二
HP <http://www.isonojinja.or.jp/>

「えがお御守」
初穂料 八〇〇円

平成二十九年に、愛媛県で国体が開催されます。地元で開催される国体を、皆さんも楽しみにしていることと思います。

愛媛国体の開催の成功を願い、「だんじり」と「みきゃん」が一緒になったお守りができました。お守りを受けた皆さんが「えがお」になる事を願います。

新授与品の紹介